メナード美術館×名古屋造形大学
共催プログラム2026

ワークショップ
「空想のモデルから塑像を作ろう」

参加無料

日時 10月31日（土）
14：00〜（約90分）

定員 10名

会場 メナード美術館
アネックス・ホール（別館）





石粉粘土を使って、当館コレクションから初公開となるエドヴァルド・ムンク《ラグンヒルとダグニー・ユール（二人の姉妹）》に描かれている「ピアノを奏でている女性」の表情を想像しながら、塑像制作に挑戦してみましょう。絵画の中では描かれていない表情を、この作品にまつわるエピソードも手がかりにしながら思い描き、頭の中のイメージをかたちにしていきます。

※画像はイメージです。



講師：平野 真美
（名古屋造形大学 情報表現領域 特任講師）

1989年 岐阜県出身
東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端藝術表現専攻修了
東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程先端藝術表現専攻在籍
闘病する愛犬や、架空の生物であるユニコーンなど、対象とする生物の骨や内臓、筋肉や皮膚など構成するあらゆる要素を忠実に制作することで、実在・非実在生物の生体構築、生命の保存、または蘇生に関する作品制作を行う。不在と死、保存と制作、認知と存在に関する思索を深め、現代の私たちはいかにそれらと向き合うのかを問いかける。

お申し込み

申込期間：9月25日（火）〜10月23日（金）
※期間外のお申し込みは無効となります。

①お名前（未成年は保護者氏名も記載。）②ご住所 ③アドレス・お電話番号を次のメールアドレスにお送りください。
名古屋造形大学社会交流センター 公開講座担当：zokokai@nzu.ac.jp